

議会だより

# なよろ

平成 30 年  
6 月定例会

第 49 号

平成 30 年 8 月 1 日  
発行



## 目次

定例会で決まったこと .....	2
議決結果・意見書 .....	3
代表質問・一般質問 .....	4 ~ 10
政務活動報告・議員協議会 .....	11 ~ 12
各委員会活動報告 .....	13 ~ 15
きぼう・編集後記 .....	16

題字 風連中学校 米田 ゆい(よねだ ゆい)さん

平成30年 第2回定例会 6月4日～6月21日

# 8億710万2千円の追加 補正を可決

市長就任後の政策的予算を追加し、  
一般会計予算219億7322万6千円に

平成30年第2回定例会は6月4日～21日までの18日間の会期で開催し14件の議案を審議。初日には加藤市長より市政執行方針、小野教育長から教育行政執行方針が述べられ、18日には2会派から市政運営などに対する代表質問、19日から10人が一般質問を行いました。議案審議では補正予算案、条例改正案、計画の策定案など10件、意見書案9件を審議し、いずれも原案どおり可決・承認。この中で、法律の改正により議会の同意による任命制となった名寄市農業委員会委員の任命について提案内容を同意しました。

## 条例の改正等

名寄市税条例の一部改正について

地方税法の改正により、中小企業の生産性向上を促進するため、固定資産税を3年間軽減し、企業の設備投資を後押しするものです。

## 主な補正予算

### 国際交流事業費

台湾交流の推進体制を「名寄日台親善協会へ一本化する」とともに、台湾交流を推進するため481万3千円を追加しました。

小規模保育施設整備事業補助金・学童保育所運営事業費

## 民間事業者による小規模保

育施設及び学童保育施設を整備するための補助事業経費として6427万5千円を追加しました。

産婦健康診査・産後ケア事業費

産後の初期段階における母子に対する支援を拡充するため197万5千円を追加しました。

## 集落支援員事業費

新規就農者等への支援及び地域のサポート体制を強化し、就農や移住の早期定着を図るため30万円を追加しました。

なよろ温泉整備事業費  
市民の健康増進、各利用者のニーズに対応した機能向上に向けた研修施設改修の基本設計を行うため1685万円を追加しました。

## 体育施設整備事業費

老朽化したスポーツセンターのトイレ設備を改修するため5500万円を追加しました。

## 人事案件

### 人権擁護委員

- 関下 富士夫氏(再任)
- 名寄市風連町仲町
- 村中 弘美氏(再任)
- 名寄市風連町新生町
- 名寄市農業委員会委員

## 臨時会を 開きました

平成30年第1回臨時会が5月10日に開催され、名寄市副市長の定数を定める条例の一部改正など11件の議案について審議し、原案どおり可決しました。

## 人事案件

- 名寄市選挙管理委員会委員
- 佐々木 順秀氏(再任)
- 名寄市風連町字瑞生
- 岩崎 隆氏(新任)
- 名寄市字智恵文12線北4番地
- 倉本 邦子氏(新任)
- 名寄市西5条南3丁目

高儀 日出男氏(新任)  
名寄市風連町本町

## 同補充員

高橋 光男氏(新任)  
名寄市西5条南11丁目

明石 まゆみ氏(新任)  
名寄市風連町西町

今田 恭嗣氏(新任)  
名寄市西7条北1丁目

川邊 勝重氏(新任)  
名寄市字智恵文18線南15番地

名寄市教育委員会教育長および教育委員

教育長 小野 浩一氏(再任)  
名寄市西10条南10丁目

教育委員 梅野 新氏(新任)  
名寄市西1条北1丁目

名寄市監査委員

鹿野 裕二氏(新任)  
名寄市東1条北7丁目

名寄市外2組合公平委員会委員

益塚 敏氏(再任)  
名寄市風連町仲町

古瀬 登美子氏(再任)  
名寄市風連町字瑞生

定木 孝憲氏(新任)  
名寄市東1条北2丁目

名寄市固定資産評価審査委員会委員

有門 優氏(再任)  
名寄市風連町字西風連

大谷 純二氏(再任)  
名寄市西4条南10丁目

## 平成 30 年 第 1 回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第 1 号	名寄市副市長の定数を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 4 号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例の一部改正について）	承認
議案第 5 号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承認
議案第 6 号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認
議案第 7 号	名寄市教育委員会教育長の任命について	同意
議案第 8 号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第 9 号	名寄市監査委員の選任について	同意
議案第 10 号	名寄市外 2 組合公平委員会委員の選任について	同意
議案第 11 号	名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

### （賛否の分かれた議案）

（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	件名	議員名	市民連合・凜風会					市政クラブ				議	公	共	新	無	名		
			浜田	山崎	奥村	高野	佐久間	熊谷	佐藤	東川	塩田	山田	佐々木	東	黒井	高橋	川村	大石	川口
議案第 8 号	名寄市教育委員会委員の任命について	欠	×	×	×	×	×	×											

公（公明） 共（日本共産党） 新（新緑風会） 無（無所属の会） 名（名風会） 議（議長） 議長は表決に加わりません。

## 平成 30 年 第 2 回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第 1 号	名寄市住宅マスタープラン（第 2 次）の策定について	原案可決
議案第 2 号	名寄地区衛生施設事務組合規約の変更について	原案可決
議案第 3 号	名寄市農業委員会委員の任命について	原案同意
議案第 4 号	専決処分した事件の承認について（平成 29 年度名寄市一般会計補正予算）	承認
議案第 5 号	専決処分した事件の承認について（平成 29 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算）	承認
議案第 6 号	専決処分した事件の承認について（平成 29 年度名寄市介護保険特別会計補正予算）	承認
議案第 7 号	専決処分した事件の承認について（平成 29 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算）	承認
議案第 8 号	専決処分した事件の承認について（平成 29 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算）	承認
議案第 9 号	平成 30 年度名寄市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 10 号	平成 30 年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 11 号	平成 30 年度名寄市立大学特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 12 号	名寄市税条例の一部改正について	原案可決
議案第 13 号	財産の取得について	原案可決
議案第 14 号	平成 30 年度名寄市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決

### 第 2 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- 北海道主要農作物種子条例の制定に関する意見書
- 2019 年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 「30 人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書
- 平成 30 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書
- 旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する補償及び救済等の早期解決を求める意見書
- ケアプラン点検による利用制限、ケアプラン有料化を実施しないよう求める意見書
- 非婚ひとり親に寡婦控除のみなし適用をする所得税法改正を求める意見書
- 地域材の利用拡大推進を求める意見書

代表質問

くらしも平和も憲法が土台に



市民連合・凜風会

熊谷 吉正 議員

総計中期計画と財政展望

**問** 市民アンケートや市民要望の反映と市民への説明は。

**答** 前期実施計画の行政評価を行い、中期実施計画に財政展望を重ね策定する。財政は厳しいが、市民満足度向上に向けさらに努力する。

**問** 合併特例債の活用による償還圧の高まりと、建設投資額低下に対する地域の不安は。

**答** 合併特例債といっても借金であるとの認識を持ち財政規律を高めていく。建設投資額の地域経済への影響も見極め早期発注などに努める。

**問** 市民と行政の協働事業を  
**答** 市民による住宅改修事業の活用評価は高い。今後の協働事業として裾野を広げ、

継続的事業として取り組むべき。

**答** 次年度以降も継続の考えだが具体的には市民や業界等とも連携し育てていきたい。「いいね憲法」活かそう皆で

**問** 憲法を護るために、市民とともに「安倍9条改憲NO!全国署名」を取り組んでいる。駐屯地隊員の命を守り権力に歯止めをかけるのが憲法である。市長の憲法を護る姿勢は。

**答** 今の憲法があつて法律や条例があると認識している。名寄駐屯地は、国防に限らず、災害復旧、隊員・家族等の地域貢献で大きな位置を占める。

**問** 今後の市民負担増の動向は  
**答** 水道料、国保税値上げは。水道事業は人口減等に

よる収益減少で平成35年には資金不足となることが予想される。国保税も厳しい状況であるが加入者の生活実態に配慮し運営協議会で慎重に対応する。

道路改良、舗装率の向上を

**問** 凍上による凹凸改善を。

**答** 国の交付金事業が採択されず舗装率が伸びない。少しでも市の単独事業で努力する。

教職員の多忙化改善を

**問** 多忙化改善の具体策は。

**答** 働き方改革や北海道アクションプランを推進し、全校で改善に向け取り組んで行く。**他の質問**・農業情勢変化による農村、農業者への影響と対策、受動喫煙防止に向けて、市立総合病院の経営健全化等



市民とともに憲法講演会で学ぶ

議会日誌 4~6月

- 4/2 議場コンサート
- 4/12 総務文教常任委員会
- 4/16 議会報特別委員会
- 4/19 北海道市議会議長会  
道北支部議長会(稚内市)
- 4/24 北海道市議会議長会  
定期総会(小樽市)
- 5/7 各会派代表者会議

- 5/8 議会運営委員会
- 5/9 経済建設常任委員会
- 5/10 議会運営委員会  
平成30年第1回臨時会
- 5/18 議会報告会(市内3会場)
- 5/22 市民福祉常任委員会
- 5/23 経済建設常任委員会
- 5/24 総務文教常任委員会
- 5/28 各会派代表者会議
- 5/30 全国市議会議長会  
定期総会(東京都)

- 6/1 議会運営委員会  
議会報特別委員会
- 6/4 平成30年第2回定例会開会  
議員協議会
- 6/19 議会運営委員会
- 6/21 第2回定例会閉会
- 6/25 総務文教常任委員会
- 6/26 市民福祉常任委員会  
議会運営委員会
- 6/27 名寄遠別線建設促進期成会  
定期総会(幌加内町)

## 冬季スポーツ拠点化推進を



市政クラブ

東 あずま

千 ち

春 はる  
議員

### ロードマップの作成を

**問** 冬季スポーツの拠点化は将来的にも重要施策で、名寄市が目指す姿とロードマップを示して計画的に進めることが必要。またナショナルトレーニングセンターのあるべき姿と見通しについて。

**答** 今後はスポーツコミッション立ち上げのための人材を確保しジュニア育成と病院や大学と連携した体制を作りたい。トレセン誘致は各種団体のアドバイスをもらい、ジュニア選手を育成できる環境整備を進めたい。

### 名寄市立大学の地域貢献は

**問** 名寄市立大学に望む社会貢献と今後の組織・運営のあり方について

**答** ケア専門職の継続教育

やスキルアップ、市民の生涯教育に資する支援、多様なリカレント教育の推進に取り組んでおり地域振興、地域交流に関わる貢献を望んでいる。

**問** 名寄市立大学の将来構想を基に更なる情報公開と地域に開かれた大学を目指す。

**答** 保育所施設の計画は老朽化する保育所施設の将来像について

**問** 豊かな老後のために

**答** 地域包括ケアシステムと健康寿命の延伸について

**答** ICTを活用し医療機

関や介護事業所などの効率的な連携を図りたい。体操などの適正量の運動や栄養摂取、口腔機能向上やケアなどで虚弱予防に取り組む。

### 地元企業の振興を

**問** 中心市街地の将来像と商工会議所との連携強化を

**答** 都市全体の観点から、居住、福祉・医療・商業、公共交通の整備など包括的なデザインから検討する。効率的な取り組みで商工業振興と地域経済活性化に努める。

**他の質問**・生産空間の維持と物流拠点化の推進について、公平・公正の原則の基本的な考え方について、幼・小・中・高・大が連携した教育力向上について



住み慣れた地域で自分らしい人生を

## 議会スナップ

### 議場コンサート

4月2日名寄市議会議場で演奏会「ダブルやまぐち&武井麻里議場コンサート」が開かれ約110人が美しい三重奏の音色を楽しみました。

出演は熊本県在住のフルート奏者 山口邦子さん、バイオリン奏者 山口みゆきさん、名寄在住のピアノ奏者 武井麻里さんの女性奏者三人が、星降るまち名寄をテーマに選出した「星の世界」を見上げて「ごらん夜の星を」「星に願いを」「情熱大陸」など6曲を披露。議場コンサートは、平成17年以来13年ぶりで、山口さんは武井さんと前日も議場コンサートに出演し、星のまち名寄の素晴らしい魅力を語られました。



満員の議場に美しい音色が広がる

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



市政運営、今後の展望は

市民連合・凜風会  
山崎 真由美 議員

組織機構の変容はいかに

**問** 副市長が1名体制となった今後の組織機構はどの様に変容していくのか。また、総合計画（第2次）の基本理念「人づくり」「暮らしづくり」「元気づくり」に迫る具体的な対応は。

**答** 合併から12年が経過し、公の施設の使用料や利用料金などの統一的な基準づくりなど、懸案事項が一定程度整理されたことにより、副市長を1名体制とした。副市長は週1回（木曜日）を風連庁舎、週4回を名寄庁舎で執務、また市長も週のどこかで半日程度風連庁舎で執務を行い、地域住民に関する対応や職員との会議、打合せ等を行っている。総合計画（第2次）の具現化については、市民との情報共有や市民参画をはかっている。今後も様々な市民参加の場を設け、まちづくりを行っていく。

地域と共にある教育の実現を

**問** 2019年度に小学校、中学校が1校ずつとなる風連地区の学校教育の今後のあり方は。

**答** 既に風連地域小中連携教育推進委員会を設置している。智恵文地区を先進事例とし、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを一体的に進めていくことを検討したい。その中で地域と共に教育力を高めていく。  
**他の質問**・農福連携推進について



11月に完成予定の風連中央小学校(完成予定図)

開業医誘致の促進を

**問** 昨年12月の条例制定以降、制度周知のためどのような案内を行っているのか。また現在までにどの程度の問合せがあったのか。開業医の誘致は喫緊の課題であり、今後、進めて行くための課題整理と新たな施策展開は。

**答** 条例制定後、ホームページに掲載し市内外に向けて情報を発信している。誘致の課題として、地域医療を担う医師が不足し、医師の募集をしている地域が多くある。問合せは1件来ており、開業を考えている医師に名寄を選択してもらおう事が重要であり、関係機関と連携を図り情報発信を継続して行く。



住みよい街づくりに向けて

市政クラブ  
東川 孝義 議員

福祉実施計画への反映は。

**問** アンケート結果の分析では、障がいへの理解の促進が必要である。障がい者が地域で生活するためには、必要な福祉サービスが利用できることが必要である。教育と福祉の連携が必要であるの3点を計画に反映した。手話条例制定後、聴覚障がいと手話をテーマにした研修会やリーフレットの作成を行った。手話の出席講座を市内で実施しており、理解を深めていく。

**他の質問**・交流人口の拡大に向けて核となる事業の構築を

**障がい者福祉施策の充実を**  
**問** 第3期名寄市障がい者福祉計画の推進に向けて、アンケート結果の分析と施策への反映は。名寄市みんなど結ぶ手話条例の取り組み経過と



障がい者に対する理解を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

**問** 市の高齢化率は5月末で32・1%、3人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えている。町内会は今、集合住宅の入居者の未加入や財源不足、活動や事業の縮小と参加者の減少、役員の担い手不

**答** 市職員とは膝を交えて話し合ってきているが、職員組合幹部との意見交換は行っていない。市政推進のために意識を高めていきたい。

**問** 風通しの良い組織の醸成を市職員が加入・加盟する組織・団体の新春集会で「市政と財政健全化の実現等について検証したが、私たちが求める市政とはなっていない」（抜粋）と、加藤市政を論評。風通しの良い組織風土の醸成と職員の士気向上を図るため、市政の改革・発展に積極的に取り組む市職員が忌憚なく、本音で意見交換を行う機会や場を積極的に設ける考えは。

**答** 市職員とは膝を交えて話し合ってきているが、職員組合幹部との意見交換は行っていない。市政推進のために意識を高めていきたい。



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石健二 議員

**問** 足と高齢化で「地域力」が落ちてきている。72町内会のうち限界集落と準限界集落の内訳は。

**答** 29年2月現在で限界集落は5町内会（25年8月対比2増）、準限界集落は29町内会（同3増）。数値上からも地域の高齢化が進んでいる。他の質問・地方創生総合戦略の策定について、ふるさと応援寄附金の再考について、市職員の地域担当制導入について



市民本意の組織機構と人づくりが求められる

**問** 地域公共交通の補完・充実に高齢者が増え、利便性の向上と中心市街地の活性化の観点から、市内空白地の改善、運行時間の短縮、バス定期路線の本数が少ない地区の改善に「乗り合いタクシー」制度の導入はできないか。

**答** 利用者ニーズの変化に対応し名寄市地域公共交通活性化協議会と連携し調査研究を進めたい。何年かかけて空白地をつくらないようにしたい。

**問** 外国人労働力の積極的受け入れで、産業構造上の働き手不足の解消を図るべきではないか。「多文化共生社会」の考えに立ち深刻化する労働力不足を見通した改善施策が必要。国の動向と本市の現況は。

**答** 国は新たな在留資格創設で実質的に単純労働の分野にも門戸を広げる方針を示した。本市の現況は外国人住民登録者人口は117名（28年



利便性の高いまちづくりを

市民連合・凜風会 佐久間 誠 議員

**問** 9月現在。教育、小売りのほか農業分野に多く就労している。

**答** 農家で構成する協議会が共同宿舍の設置による住宅確保や生活指導のサポートに取り組む、市は講習における講師派遣や運営の支援を行っている。外国人労働者に対する事業者ニーズを把握し、可能性を探って参りたい。

**問** 外国人労働力の受け入れ拡大に向けた住居、言語教育、行政手続き等のサポートと、自前の管理団体を設置すべき。

**答** 無電柱化構想のコースと効果等



小回りの利く予約制乗り合いタクシーの実現で地域交通の充実を！

限界集落：人口の50%以上が65歳以上で高齢化が進み、共同体の機能維持が限界に達している状態。  
準限界集落：人口の50%以上が55歳以上で現在は機能を維持しているが、限界集落の予備軍となっている。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



地域の活性化策

市政クラブ 塩田昌彦 議員

経済部所管事業について

問 台湾交流の推進体制を

名寄日台親善協会に一本化する計画だが、今後の台湾交流の展望と方向性及び行政支援について。

答 行政主導で始まった台湾との交流も5年が経過し、

交流の裾野を広げつつ、より一層の交流推進を図るため、市民が交流に積極的に関与する必要性があると考え、民間レベルで始まった名寄日台親善協会に一本化し、推進するとした。事業内容では、台湾の文化や歴史を学び国際感覚の醸成に繋げるため、中学生野球に限定せず派遣事業を実施することとし、教育旅行の受入や農業青年派遣事業を新たに実施し、次代を担う人材育成に取り組むとし、当面は財政支援を行う。

名寄市のまちづくり応援ふるさと納税について

問 ふるさと納税の実績と

取り組みの周知と工夫について。

答 名寄市が取り組むふるさと納税は、平成29年度から

周知の工夫を行い専門サイトの活用を開始したことが要因となり、平成29年度実績では、前年の2.6倍の2575件、2623万8千円の寄附額となった。寄附者に対する返礼品の商品構成を変更し37品目に増加するなど、リニューアルを行い情報発信をしてきた。ただ、名寄市民が他の自治体に寄附するケースもあり、市民税の納税に影響する面もある。

他の質問

・産業まつりについて、食育推進の取り組み



ふるさと納税



安心安全なまちづくり

市政クラブ 佐々木寿 議員

上下水道でのPF導入

問 上下水道でのPF導入

入に対する考えを伺う。

答 現在、上下水道は大規模な施設整備事業の予定もなく直営での効率的な事業運営に努めているが、人口減少による事業収益の減少、施設の老朽化、職員数の減少等様々な課題に直面している。将来的に安定した事業運営、充実した公共サービスを継続するためにも、PFを含め民間活力の導入も選択肢の一つと考

え情報収集に努めていく。

問 免許証返納しやすい環境

に対する施策としてタクシー運賃割引制度の導入で返納しやすい環境改善への考えは。

答 本市は4月から免許証返納に対する「運転経歴証明書」の発行手数料の助成の位置づけとして申請により商品券千円分を交付している。この施策は運転に不安を感じて

いる高齢者の自主的な免許返納を促し、交通事故を抑制することが目的。現在運転経歴証明書の交付申請は3割程度だが、民間や各種団体で実施する様々なサービスを受けることが可能となる。本市としては高齢者への交通機関等の助成や割引制度は、免許返納とは別の課題として、まちづくりも含めた高齢者全体に関わる施策と位置づけ引き続き協議する。

他の質問・高齢者事業の支援、

公営住宅の再生、空き地管理、女性コーチの活用



水道を支える人が減っていく！

安定、充実した上下水道事業推進のために

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

**問** 独法化検討、地域優遇策は継続  
 今回の市長選に際し、加藤市長の後援会が発行した会

**答** 市内経済においては各種課題があり、庁内横ぐし的なセクションは必要と考える。団体についても情報収集を行い、対応策を検討したい。



独立行政法人化は時代のすう勢か  
 (名寄市立大学の今年の入学式から)

**問** 市道16線と国道40号及び昭和通り交差点には現在手押し式信号機が設置されているが、児童・生徒が国道40号、昭和通りを横断する際、歩行者用信号機しかないため右左折して進入する車両の歩行者優先への認識が浅い。それぞれの市道車両用信号機の設置を。

**答** 市道車両用信号機や横断歩道などの施設整備は、毎年度各学校からPTA連合会を通し市に要望が出され、担当部署から関係機関に働きかけている。しかし、各関係機関も厳しい財政事情のなかにあり、中々要望通りの整備が進んでいない状況であるが、引き続き通学路の安全対策に取り組む。冬季間は通学路の除排雪や児童が車道を横断する箇所の砂撒き回数を増やすなどの対策を進める。



家庭・地域・関係機関が協力した交通安全対策を

現状把握と具体協議機関必要

**問** 消費税が8%となった以後、地域の実態について意見交換した結果を道は「地域経済カルテ」として公表しているが、厳しい上川北部の状況が示されている。現在も経済の衰退が続く名寄市にあつては、来年10月の消費税引き上げがさらなる衰退への引き金となる懸念される。しっかりとした対応策が打てるよう、実態把握を含め庁内で横断的に議論できる場が必要ではないか。また、各種市内団体でも会員の高齢化、減少などの課題がある。この実態把握と対応も必要。

報の中で「大学の進化。独立行政法人化の検討」と掲げているが、独法化に前向きに検討する姿勢を示されたと解釈して良いのか。また、4大化以降取り入れている地域枠や入学金軽減などの地域優遇策についての見解は。

**答** 全国公立大学92のうち、法人化大学は80で、年々増加していることから、今後検討する課題と認識している。地域枠や入学金軽減については維持していく。



市民連合・凜風会 佐藤靖 議員

実態見据え、禍根無き対応を



公明 高橋伸典 議員

通学路の交通安全対策を

通学者の安全を優先に

**問** 市道16線と国道40号及び昭和通り交差点には現在手押し式信号機が設置されているが、児童・生徒が国道40号、昭和通りを横断する際、歩行者用信号機しかないため右左折して進入する車両の歩行者優先への認識が浅い。それぞれの市道車両用信号機の設置を。

**問** 町内会加入促進条例を

市民に自治意識を芽生えさせ、住みよいまちづくりにつながる町内会加入促進条例制定の考えは。

**答** 本市のまちづくりを進める原則として「名寄市自治基本条例」が定められており、自治コミュニティの基礎的な組織である町内会活動への参加を促している。新たな条例を設置し、更なる住民参加の気風をつくり上げる必要性も認識するが、現段階では自治基本条例の基本原則に沿い、町内会と連携し広報活動を通じ意識啓発に努める。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



農業施策と教育環境の充実を

市政クラブ 山田典幸 議員

農業振興施策について

**問** 地域農業の発展のためには、担い手の育成と確保対策が何より重要である。今後の担い手支援策の具体的な取り組みについて伺う。

**答** 昨年度JAとの協調による支援事業の見直しを行い、農業後継者の栽培技術や経営感覚を習得する取り組みへの支援や、新規就農者の農業機械等の導入への助成制度を新設した。事業の検証を含め、より効果的な施策となるよう引き続き推進をしていく。担い手確保については、相談体制の充実や受け入れ態勢の整備を検討している。今後とも担い手のニーズの把握に努め、関係機関等と連携し地域ぐるみで担い手を支える体制づくりを推進していく。

教育行政について

**問** 今年度から新たな名寄市立小中学校施設整備計画が示されたが、今後名寄市立小

中学校適正配置計画(第2期)と連動した中での学校施設整備の考え方について伺う。

**答** 名寄市街地区の2中学校については旧耐震構造に加え老朽化も激しいことから、早急な整備が必要。将来の生徒数の推移を踏まえた施設の適正規模等を考慮し検討を進める。郊外農村地区の智恵文小学校については、校舎が未耐震であり、小中一貫校への対応を含め施設整備の面での検討を進めていく。



担い手支援施策の一層の充実を



子どもの生活環境の安定を

日本共産党 川村幸栄 議員

子どもたちの生活環境整備を

**問** 子どもたちの生活環境を整備するために行った北海道や旭川市のように、施策に反映できるように実態調査を行う考えは。

**答** 実態把握調査について名寄市立大学と協議し検討したい。

**問** 子どもの医療費無料化は国の施策として行ってもらいたい。名寄市独自の支援をさらに広げたいことを求める。

**答** 就学前の入院と通院、小学生の入院の助成を行っている。当市も旭川市と同様に低所得層ほど子どもを受診させられなかった理由に「お金がなかった」とする傾向にあると考えられる。生活実態の把握と並行し、要望等取捨選択しながら限られた予算を効果的に子育て支援に充てたい。

**問** 子どもの数が増える度に負担増となる国保の均等割りについて、市独自の軽減策を。

**答** 全国知事会などでも「子どもの均等割保険料の軽減措置の導入」などの財政支援を要望。引き続き北海道市長会などと国に要望を続ける。

**問** 5月末、歴史ある「もち御膳」など「もち」について岩手県一関市を視察。大学食堂での提供も検討を。

**答** 面積、量ともに日本一を誇るもち米のまちに発展している。10日をもちの日とし、大学食堂での提供も協議したい。

**他の質問** 給食費の無料化、男女共同参画推進計画の推進



名寄のもちをアピールする「もち大使」

## 政務活動費の概要について報告します。

### 政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付されます。【交付額は議員1人当り、月額10,000円です。】

### 平成29年度 名寄市議会各会派の政務活動費概要報告

単位：円

	市民連合・凜風会	市政クラブ	公明	日本共産党	新緑風会	無所属の会	名風会	合計
当初交付額	840,000	720,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	2,160,000
支出	調査研究費	626,730	762,710		11,120	131,800	122,920	1,655,280
	研修費	185,740				30,000		215,740
	広報費	10,550			5,290			15,840
	広聴費	13,924						13,924
	要望・陳情活動費							0
	会議費							0
	資料作成費	4,905						4,905
	資料購入費		12,312		21,400			33,712
	人件費							0
	事務所費							0
支出合計	841,849	775,022	0	37,810	161,800	0	122,920	1,939,401
未執行額(返還額)	0	0	120,000	82,190	0	120,000	0	322,190
H29年度交付額	840,000	720,000	0	37,810	120,000	0	120,000	1,837,810

交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

#### 市民連合・凜風会

8月22日～24日に四国中央市にて「デマンドタクシー」事業の現状。須崎市で「須崎市人材育成塾」。高知市で「子どもまちづくり活動支援事業」を視察しました。名寄市の重要課題事項でもありますので市政や一般質問で視察の成果を発言していきます。

2月22日～23日は札幌市「えほん図書館」自治体財政セミナー、滝川市「市立図書館」を研修しました。老朽化している市の図書館を検証し提言をします。又ますます厳しくなる地方財政について知識を新たにし市政に反映していきます。

また、意見交換会を2月13日～14日、文化センター

日、地域交流センターで多くの課題を議論しました。



たくさんの課題をいただいた意見交換会

#### 市政クラブ

平成29年度は道外視察を10月30日～11月2日の日程で行いました。

埼玉県熊谷市では本市としても課題となっている閉校した学校施設の活用として「スポーツ・文化村くまびあ」の視察を行い、閉校後の学校施設の有効活用策について学びました。群馬県高崎市の「はまゆう山荘」の運営については「第三セクターの運営手法」について視察を行い、本市の三セクの運営に参考となる取り組みを学びました。茨城県石岡市では「いしおかファイルムコミッション」について、茨城県水戸市では「子育て支援・多世代交流センター」の運営については「千葉県大多喜町では「いすみ鉄道株式会社」の運営について、それぞれ視察を行い、本市において課題とされている事項をはじめ、鉄

道を活用した地域活性化策について調査を行いました。



群馬県高崎市の「はまゆう山荘」にて第3セクターの経営を学ぶ

## 日本共産党

道北地域に住む私たちに  
とつて、生活（通学、通院な  
ど）や経済活動に欠かすこと  
のできない交通機関としての  
JR北海道問題は重要な課題  
です。

8月24日稚内市で行われた  
「フォーラム」宗谷の持続可  
能な交通体系の構築に向けて  
」に参加。地域経済活動の  
役割を担う、稚内商工会議  
所・稚内市が主催です。工藤  
市長が最後に強調された。

「使いたくても使えない状況  
であることを声に出して中央  
（国）に伝えなければ…」と  
の言葉が強く印象に残りまし  
た。鉄道網は、明治時代に逆  
戻り状態です。生活や経済を  
守り、人々の移動する権利を  
守るためにも、公共交通機関  
としての役割をしっかりと守る  
ことが強く求められます。



## 新緑風会

新緑風会は平成29年11月  
16日から5日間、京都市で開  
催された地方議員研究会主催  
の地域包括ケア特別講座『地  
域福祉政策の立案と実践に向  
けて』の講座受講と、同市左  
京区の私設図（図）書館の視  
察等の政務活動を行いました。  
2025年を目指す地域包括  
ケアのポイントは、大前提に  
民間や地域が担っていくこと  
にあります。今回の政務研修  
は、地域の人口構造がどのよ  
うに変化していくのかを推計  
し、政策実践のスキルを磨く  
のがねらい。また、私設図書  
館の視察は、文字離れや図書  
離れが叫ばれている中で老朽  
化に伴う新たな市立図書館建  
設の議論が交わされている中  
で、図書館の本来あるべき姿  
を学びました。



講義を傾聴し地域包括ケアを学ぶ

## 名風会

平成29年度は、10月30日  
11月2日の日程で合同で道外  
視察を行いました。埼玉県熊  
谷市では、スポーツ・文化村  
「くまびあ」にて視察を行い、  
使われていない施設の利活用  
について学びました。群馬県  
高崎市では、はまゆう山荘に  
て視察を行い、施設の運営に  
ついて学びました。茨城県石  
岡市では「いしおかフィルム  
コミッション」について視察  
を行い、観光資源の活用につ  
いて学びました。茨城県水戸  
市では、子育て支援・多世代  
交流センターにて視察を行い、  
施設の運営について学びまし  
た。千葉県大多喜町では、  
「いずみ鉄道の運営」につい  
て学びました。当市において  
も課題とされている事項につ  
いて、役に立てるよう調査・  
研究を行いました。



高等学校閉校後に利活用されている施設「くまびあ」

## 議員協議会

（平成30年6月4日）

今回の議員協議会では、株  
式会社名寄振興公社の経営状  
況、名寄市総合計画中期計画  
策定、平成30年度各会計補正  
予算（肉付け）、名寄市住宅マ  
スタープラン（第二次）の策  
定、名寄市新ごみ処理施設整  
備基本構想について報告を受  
けました。

補正予算に係る主な事業は  
「小規模保育施設整備事業補  
助金・学童保育所運営事業」  
「産婦健康診査・産後ケア事  
業」「集落支援員事業」「農福  
連携支援事業」「学校教育情報  
化推進モデル事業」等で、「な  
よる温泉整備事業」では、市  
民の健康増進、各利用者の  
ニーズに対応した機能向上を  
図るため、施設改修の基本設  
計委託料を計上することが説  
明されました。

名寄市新ごみ処理施設整備  
基本構想については、老朽化  
した炭化センター、し尿処理  
施設の整備について説明があ  
り、広域処理施設であるため  
具体的な協議は今後となるこ  
とを確認しました。

## 総務文教常任委員会活動報告

当委員会では4月12日第2回委員会を開催し名寄市立大 学図書館の役割と課題をテーマに副館長西田麻衣子氏から説明を受けた後に食堂、売店、音楽室、児童母性看護実習室を備える5号館を視察しました。また総務部からは構造改革特別区域計画の認定、日本最北のワイナリー創生・名寄ワイン特区、名寄市地域防災計画の一部改正について説明を受けました。

5月24日の第3回委員会では総務部、教育委員会から所管事項の報告を受けました。教育委員会からはスポーツ合宿の状況について、冬季スポーツ拠点化事業の現状と課題について、平成30年度名寄市教育委員会教育推進計画全体構造及び名寄市学校教育推進計画全体構造について説明を受けました。

総務部企画課からは名寄市総合計画（第2次）中期計画策定作業について、生産空間維持・物流の拠点化について、

宗谷本線活性化推進協議会について、町内会長との懇談会の開催について、総務課からはふるさと応援寄付について、平成30年度情報化推進事業について、研修担当からは職員研修について、より良い職場環境の整備について、防災担当からは名寄市防災訓練について、復興元氣事業・なよろ夏休み防災・科学スクール2018について、シェイクアウト訓練について、自主防災組織設立支援等について説明を受けました。

大学からは学生の在籍状況、入学・志願状況、入学生の出身自治体、大学教員数、卒業生の就職進学状況、国家試験

等の状況等について説明を受けました。さらにコミュニケーションケア教育研究センターの活動実績報告及び30年度活動計画について、30年度の主な施設改修について、図書館の利用状況について説明を受けました。



進む冬季スポーツの拠点化事業

### 災害時に備えた組織体制を定めました

市議会では、災害が発生した際に市の災害対策本部と連携した支援、協力を行うための対応や組織体制を確立するため、「災害時の行動等に関する規程」を定めました。今後、具体的な行動マニュアルの整備も行いながら災害に備えてまいります。

## 議会報告会を開催しました

（平成30年5月18日）

今回の報告会は昼の部1会場、夜の部2会場の3会場とし、3班集体で実施。全体で36名の参加をいただきました。前段には、議会改革調査特別委員会における協議結果および定例会の審議内容、各常任委員会における行政視察概要などを報告。その後の意見交換では、議員定数や議員報酬に対するご意見や、行政視察のあり方や具体的な成果を求める声など、多くの意見が寄せられました。市の政策に関する貴重なご意見や要望につきましましては、各常任委員会課題を整理し、市政に反映できるよう対応について検討していきます。



議会運営に対し多くの意見・提言が寄せられた

## 市民福祉常任委員会活動報告

当委員会では5月22日、市民部及び健康福祉部、市立総合病院から平成30年度の関連事業等の概要報告がそれぞれ行われました。市民部からは市税条例の一部改正について説明及び報告が行われました。これは、地方税法の一部改正を受けて5月10日開会の第1回臨時会で市税条例の一部改正の専決処分を承認しましたが、新たに生産性向上特別措置法が成立したことから、市税条例を整備するものです。改正の主な内容は中小企業等で先端設備投資の導入計画が認定を受けると、集中投資期間3年間の固定資産税をゼロに軽減するというものです。このほか国保事業、名寄地区広域最終処分場の供用開始後の利用状況などについて報告が行われました。

健康福祉部からは、このほどJIS規格に登録されたヘルプマークとヘルプカードの取り組みについて報告がありました。これは、障がいが見

てはわかりづらい市民が所持することで周囲の援助を得やすくしようと平成24年度に東京都でスタートした試みで、市においても本年4月からスタート。これまでにマーク30個、カード50枚が配布されており今後、広報誌等を活用して市民周知を図るとしたほか、



ヘルプマークと名寄市版のヘルプカード

生活保護業務や認知症初期集中支援チームの設置等が報告されました。市立総合病院からは、債権（診療費）放棄について報告が行われました。それによると、患者が破産、死亡等の理由により回収見込みのない診療費の債権30件（総額137万1690円）を放棄するものです。また29年度決算概要では、資本的収支不足額3億6477万1千円（前年比9.5%増）を計上することについて報告が行われました。



厳しい経営が続く名寄市立総合病院

## 議会スナツプ

### チャレンジデー 綱引き大会

5月30日運動やスポーツの参加率を競い合う「名寄市民健康づくりチャレンジデー2018」で大分県杵築市と対戦し、チャレンジデー実施本部スポーツ振興部主催の市民綱引き大会がスポーツセンターで開催されました。市議会議員会では、参加率65%達成と勝利のために少しでも貢献したいとの思いで参加。綱引き大会はトーナメント方式で行われ、一般の部に107チームが参加した中で、1回戦は風連剣道少年団と対戦。駆け付けた保護者の熱気あふれる応援と少年団の力強い息の合った綱引きに議員会は完敗しましたが、結果として参加率65%を超え4年ぶりに勝利できたことに安堵しました。



綱を持つ手に力が入る

## 経済建設常任委員会活動報告

5月9日に開催した委員会では畜産クラスター事業で、搾乳牛舎新築、搾乳ロボット導入、スラリーストア新設の

取り組みを進めている風連日進地区の 田代様の牛舎施設等を視察した後、建設水道部所管の事業について都市計画マスタープラン見直し及び立地適正化計画の策定概要の説明をつけるとともに、住宅マスタープラン策定に関する経過の説明を受けました。また、名寄市水道事業経営戦略については、名寄市上下水道事業

経営審議会で議論された素案の内容に基づき公表がされるとの報告を受けました。

経済部からは農業委員募集と推薦状況について合計27人（内女性4人）が審査の結果候補者として決定したこと、生産性向上特別措置法案の概要については、中小企業に対する3年間の固定資産税軽減を実施し生産性の促進を図ること、その他農業労働力の確保対策として、名寄市立大学生とアスパラ生産農家のマッチングを進めているとの報告を受けました。



先進の畜産クラスター事業を視察

5月23日の委員会では平成30年度経済部各課の事業概要について報告を受け、改めて生産性向上特別措置法に基づく名寄市税条例の一部改正の説明を受け改正内容の理解を深めました。また、建設水道部からは、平成29年度除排雪事業について、累積降雪量が28年比20%増の影響により除雪出勤回数・幹線道路排雪・生活道路排雪等1.5倍と

なったこと、第2回定例会に提出予定の防衛施設周辺整備費による除雪グレーダの購入、パブリックコメントを終えた名寄市住宅マスタープラン、水道事業に係る債権放棄の専決処分などの報告を受け、当面の課題に対する理解を深めてきています。

経済建設常任委員会では今年度の調査・研究課題を「名寄市日進地区再整備基本構想の今後のあり方と市内経済の活性化」として、サンピラー温泉の改修も含めテーマを持って先進地視察も行いながら議論を進めていくこととしております。



日進地区の今後のあり方を調査研究課題に

## 議会運営委員会活動報告

平成30年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、6月1日及び19日に委員会を開催しました。6月1日の委員会では、会期を6月4日から6月21日までの18日間とすること、代表質問を6月18日に2会派が行い、一般質問は19日に4名、20日に4名、21日に2名、合計10名の議員が登壇することを確認しました。また、今定例会より代表・一般質問の聞き取り方式や日程調整の方法を見直すことを確認しました。上程議案は12件、報告8件、諮問1件で、議案第1号名寄市住宅マスタープラン（第2次）の策定について及び議案第9号、10号、11号の平成30年度一般会計補正予算と2特別会計補正予算の4議案を最終日まで議事延期をして審議を行うことを確認しました。19日の委員会では、最終日の本会議の議事日程及び議案等について協議し、2件の追加議案について審議することを確認しました。

# ☆ き ぼ う ☆



食育ってなあに？  
おいしいはうれしい  
名寄市風連町南町 七條 千文

私は保育園で給食を作っています。離乳食から幼児食まで形態も幅広く工夫しながら作ります。数年前から保育の中で食育も重要視されるようになり、色々な取り組みをしています。

野菜作りや収穫体験、調理体験もするのですが子ども達は行事食やバイキング給食を楽しみにしています。食事の前にする栄養のお話しも真剣に聞いてくれます。時には「野菜を食べると風邪ひかないよ」とか「お肉を食べると筋肉ができるんだね」と言う男の子、「お米にはいっぱい栄養が入っているね」などと話してくれます。残さず食べる事など子供なりに食の大切さを知り身近で見る食材で作ってくれた人への感謝の気持ちが養われています。日常生活の中にも食育に繋がる要素は沢山あり今すぐに伝えた効果はでなくても子ども達の一生の食の基礎力になると“きぼう”を持ち伝える努力をしようと思います。



「素敵なまち」であり続けるように

名寄市徳田 畑中 覚是

私は、留萌市で生まれ育ち、縁あって名寄市に移住し、現

在はNPO法人なよろ観光まちづくり協会に勤務し、今年で6年目を迎えました。昨年からは事務局長を務めさせていただいております。

昨今、名寄市に限ったことではありませんが人口減少など様々な問題がある中、私たちは観光の観点からまちづくりを進めております。この6年間、日々悩みながらですが活動する中、名寄市単独ではなく近隣市町村と広域的な繋がりを少しずつ深め活動していくことで、新たな魅力創出を目指し、進化を続け名寄市を一人でも多くの方が訪れてくれるよう、名寄市を一人でも多くの方にしていただけるよう、そして名寄市民の皆さまが、「きぼう」を持ってこのまちで暮らせるよう、これから先もずっと魅力ある「素敵なまち」でいられるよう、活動していきたいと思っています。

## 表紙の写真は「名寄ピヤシリ水泳少年団」です

名寄ピヤシリ水泳少年団は水泳技術の向上、水泳活動を通じた青少年の健全育成、規律ある生活マナーを身につけることができるようよう活動しています。今年度は88名の団員が初級3クラス、中級・上級各1クラスに分かれ練習に励んでいます。毎年5ヶ月間と活動期間が短いですが応援してくれる多くの方に感謝し、これからも水泳の楽しさを感じながら活動していきます。



平成29年度生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣より表彰を受けた水泳少年団の練習風景

## 編集後記

今年も気温が不安定で体調管理が難しい日々が続いておりませんが、市民の皆さまはどのようなお過ごしでしょうか。一人ひとりが手洗いとうがいをし、十分な睡眠を取り体を休め体調管理をしていきましょう。観光シーズンになり、市民の皆様は家族で出かける回数も増えるのではないのでしょうか。それと同時に交通事故も増えてくる時期になりますので時間と心にゆとりを持ち安全運転で過ごしていただければと思います。議会報特別委員会では、議会だよりの他に「かわら版」も発行しており、一人でも多くの市民の皆様から読んでいただくために常日頃から研究しております。これからも多くの市民の皆さまに親しみを持っていただけるよう、議会だよりと「かわら版」を創意工夫し作成していきますので、是非ともご覧ください。(樹)

